

# 食育通信1月号

毎月19日は「食育の日」です。食育の話題に触れることにより、より食育に親しみましょう。

今月のテーマは

『 久留米産農産物を食べよう 』です。

## 地産地消とは

「地域で生産されたものをその地域で消費すること」です。

久留米市は、福岡県内1位の農業産出額を誇る(令和元年市町村別農業産出額より)「農業都市」です。

地域で採れた新鮮な農産物を食べる機会が増えることにより、「安全・安心・新鮮」な久留米産農産物への愛着が増し、「食」と「農」への理解が進み、消費の拡大や地域経済の活性化へつな갑니다。

今月は、今おいしく食べることができる久留米産農産物と、久留米市地産地消推進店について、ご紹介いたします。

## 久留米産農産物 (出典：福岡県農業統計調査(令和元年度産))

### かぶ



久留米市の生産量は785t。県内の生産量の35.6%を占め、第1位です。11月～6月に生産されます。久留米市では、なかぶを中心に小かぶ、赤かぶが生産されています。

### ほうれんそう



久留米市の生産量は1,356t。県内の生産量の66.6%を占め、第1位です。11月～7月に生産されます。病気に強い品種を取り入れるなど、栽培に工夫がこらされています。

### サラダ菜



久留米市の生産量は1,087t。県内の生産量の89.2%を占め、第1位です。周年出荷されます。全国的に水耕栽培が多い中、久留米のサラダ菜は土耕栽培で、日持ちがいい、果肉が厚い、色が濃いなどの特長があります。

### いちご



久留米市の生産量は1,378t。県内の生産量の11.8%を占め第2位です。11月～6月に生産され、そのまま食べるだけでなく、贈答用やお菓子等の加工用、観光農園等でいちご狩りも楽しめます。

### 久留米市地産地消推進店

久留米産農作物を購入、食べることができるお店です。右のポスターやステッカー、のぼり(色は茶色・ベージュ・ピンク・緑)が目印です。



「安全・安心・新鮮」な久留米産農産物を食べましょう。



食育通信は、食育の日

に久留米市ホームページ、久留米市公式LINEにおいて発信します。

食育関連イベント情報は、[久留米公式ホームページ『食育通信・食育イベント』](#)のページ

をご覧ください。

来月2月号の特集は「一緒に食べるとおいしいね」です。お楽しみに。